



特集

身につけよう、
ごみを減らす「新習慣」



「ごみ収集車を追いかけよう」 イベントを開催しました

7月25日・26日の日程で、「ごみ収集車を追いかけよう」イベントを開催し、小学生とその保護者78名が参加しました。

①ごみ収集車を追いかけよう!

最初にごみの収集作業を見たよ。令和4年度の1人1日あたりのごみ排出量は1,229g。リンゴなら約4.5個分、おにぎりなら約12個分ものごみをみんなが毎日捨てているんだって。

ごみを減らすため、まずは**分別**することが大切です。



③リサイクル品はどこに行くのかな?

古紙や古着のリサイクル事業者を見学させてもらったよ。
レシートなどのリサイクルできない紙は、手作業で取り除いているけれど、数が多いと取り切れないんだって。家庭での分別がとっても大事なんだよ。

アルバム、レシート、ティッシュ…リサイクルできない紙は手作業で取り除いているんだね。



②ごみ処理施設にとouch〜!

施設を見学して、ごみの現状について教えてもらったよ。ごみ処理にたくさんのお金が使われていることや、燃やせるごみに資源物が混ざっていることなど、いろいろな問題があるんだね。



会津若松市がごみ処理にかけたお金は、約17億円でした

ええ〜!?

④ごみ分別について学ぼう!

分別についてゲーム形式で勉強したよ。みんな、たくさんのことを知ってごみについてとっても詳しくなったね。学んだことをお家で実践してみよう!

ガラスコップは「燃やせないごみ」だったんだ!

資源物のびん類として出せるのは、食品等の容器の「びん」だけなんだよ



参加者の感想

(陽向さん)おばあちゃんと参加して、ごみについて楽しく学ぶことができました。

ちゃんとごみを分別しないと資源を燃やしてしまうので、もったいないと思いました。

(淑江さん)市のごみの量は全国同規模のまちの中で9番目に多いと聞いたことや、燃やせるごみの中に紙やプラがたくさん混ざっている様子を見て、残念に思いました。これからは、ごみの分別に一層取り組もうと思います。



湯田陽向さん(3年生)・武藤淑江さん(祖母)

【編集・発行】 会津若松市 市民部 廃棄物対策課

〒965-0858 会津若松市神指町大字南四合字深川西292-2

電話0242-27-3961 FAX0242-29-1618 Eメールgomi@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

URL: <http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>

特集

身につけよう、ごみを減らす「新習慣」

市では「燃やせるごみ」を令和4年度実績で1日あたり104.2トン排出しており、令和7年度までに82.1トンに削減することを目標としています。このためには市全体で22.1トン(1人1日あたり193グラム)を削減しなければなりません。もしもこのままごみが減らない場合、ごみを処理しきれなくなり、私たちの生活に多大な影響が生じるようになります。


目標達成に向けてごみを減らすためには全市民の皆さまの協力が必要です。ごみを減らす「新習慣」を身につけ、ご家族やお友達、ご近所の方にもごみの分別と減量の協力の輪を広げていきましょう。

習慣① 専用のごみ箱を複数置こう!

雑がみとプラスチック製容器包装を燃やせるごみと混ぜないために、ご自宅のスペースに合わせて「紙専用」と「プラ専用」の2つのごみ箱を居間や台所、洗面所などに置きましょう。

「混ぜればごみ、分ければ資源」の言葉通り、使い終わったらすぐ分別する習慣を身につけることで、ごみにすることなく資源としてリサイクルすることができます。

「燃やせるごみ」「プラ専用」「紙専用」のごみ箱を並べて置けば、資源をすぐに分別する習慣が身につきます。資源を燃やさず、リサイクルしましょう!



専用ごみ箱の例



長谷川 ハナコさん(飯盛)
「足が悪くなってからプラ専用ごみ箱も置くようになりました。毎日飲む菓の袋などをすぐに分別することができます。」

習慣② 雑がみは発生場所ですぐに分別しよう!

「雑がみ」は、居間や台所などの発生場所ですぐに紙専用ごみ箱に分別する習慣を身につけましょう。

居間では、郵便受けに入っていた封筒、はがき、チラシ、パンフレットや、日用品などの紙袋や包装紙、空き箱などが発生します。

また、台所では食品の空き箱やラップ類の紙芯が、洗面所では入浴剤や化粧品の空き箱などが発生します。

紙専用ごみ箱に入れた雑がみは、紙袋に入れるか雑誌の間に挟んでひもで縛ってから古紙として出してください。



雑がみの例



リサイクルできない紙類

- 食品残渣のついた紙
- 臭いのついた紙
- 防水加工された紙
- 写真
- 圧着はがき
- 感熱紙(レシート)
- カーボン紙
- シール、粘着テープ

※ 金色や銀色の紙(折り紙、ガムの包み紙)、内側が銀色の紙製容器、裏面が茶色・黒色の駐車券や切符、フックキングシートなどは燃やせるごみです。
もっと詳しく知りたい方はこちら▶


比企 雄行さん(追手町)
「小さな紙でも資源だと気づき、雑がみ分別を始めました。居間に雑がみの保管袋を置けば、ティッシュやお菓子の空き箱をすぐに分別できます。散らからず、紙袋に入れば縛ってすぐ資源ごみに出せます。」

習慣③ プラスチック製容器包装は汚れを落としてリサイクルしよう!

これまでは「汚れたプラスチック製容器包装は燃やせるごみ」でしたが、これからの時代は、もう一度資源として循環させるために、プラスチックは汚れを落としてリサイクルする習慣を身につけましょう。洗い物やお風呂の残り水などで洗えば節水にもなります。なお、洗っても汚れが落ちないもの(油のボトル等)は燃やせるごみに出してください。


① お菓子の包装

使い終わったティッシュや台ふきなどがあれば、拭いて汚れを落としてから、プラ専用ごみ箱へ入れましょう。




② 食品の容器包装

食器洗いの際に水ですすぐか、汚れが落ちにくいものは食器用洗剤で洗って、水を切ってからプラ専用ごみ箱へ入れましょう。



③ シャンプー・化粧品・洗剤などの容器包装

風呂の残り水ですすいで、水を切ってからプラ専用ごみ箱へ入れましょう。




習慣④ 生ごみは土にかえそう!

土の中の微生物の働きで生ごみを分解する「キエーロ」をご存じですか? 作り方は木箱やプランター、衣装ケースなどの容器に土を入れて雨避け用の蓋をするだけ、使い方は穴を掘って生ごみと土をよく混ぜて乾いた土で覆うだけです。調理くずや食べ残しなどの生ごみをキエーロに入れる習慣を身につけましょう。


また堆肥を活用できる方ならコンポストもお勧めです。生ごみをコンポストやキエーロに入れることで、生ごみの臭いや虫、重いごみ捨てから開放されます。

生ごみを埋めれば、4~5日程度で分解されて無くなります。

もっと詳しく知りたい方はこちら



削減型生ごみ処理容器「キエーロ」▶




長崎 キヨ子さん(飯盛)
「コンポストに生ごみや庭の雑草などを入れて堆肥を作り、利用しています。資源を循環させることでごみが減り、化学肥料を使わずに安全安心な野菜作りができるので、節約にもなります。」

※キエーロは、キエーロ葉山の登録商標です。